

# 熊本地域医療

当院HPは  
こちらから



# センターだより

院長 杉田裕樹

令和6年(2024年)12月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号 <https://krmc.city.kumamoto.med.or.jp>

2024 **12** 通算235号  
月号

## 熊本地域医療センター 理念

かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。  
そんな病院をめざし、地域社会に貢献します。

## contents

わかりやすい診療部紹介～循環器内科～	P1
わかりやすい部門紹介 ～地域医療連携室 入退院支援～	P2
退任挨拶	P2
連携の会を開催しました	P3
友達の輪～Relayトーク第32弾～	P4

## わかりやすい 診療部紹介 Ver.3

## ～循環器内科～

循環器内科部長 **ほんだ つよし**  
**本多 剛**

医師会員の先生方におかれましては、平素より大変お世話になり感謝申し上げます。

今年(2024年)4月より熊本地域医療センターへ赴任致しました本多と申します。これまで循環器内科部長でありました平井より循環器内科部長を引き継ぎましたため、今回の診療部紹介を担当させていただきます。尚、平井は内科系診療部長と今年(2024年)4月から救急科部長を兼任しております。

私は、2000年10月から2001年9月までの1年間、熊本地域医療センターで内科研修医として勤務させて頂いておりました。23年ぶりに赴任致しまして、当時を懐かしんでおります。

この20数年の間に循環器領域の治療は著しい進歩がありました。虚血性心臓病に対するカテーテル治療においては薬剤溶出性ステントが出現し、再狭窄が激減しました。また石灰化病変に対する切削デバイスの選択肢が増え、インペラによるメカニカルサポートも出現しました。経カテーテル的大動脈弁留置術や経皮的僧帽弁形成術などの構造的疾患に対するインターベンションが注目されております。残念ながら、当院はこうした治療とは無縁で、可能な治療はバルーン拡張術やステント留置術に限られます。このため当院へ御紹介頂きました症例につきましては、心エコー、心臓CTや心筋血流シンチグラム、心臓MRI、心臓カテーテル検査などの検査結

果を踏まえまして、高度な医療が必要な症例につきましては、熊本大学循環器内科をはじめとする熊本市内の三次医療機関へ紹介しております。

また昨今の心不全パンデミックにより、高齢者の心不全症例が増加傾向にあります。こうした症例ではフレイルが進行しており早期退院が困難なことが多いです。当院では心臓リハビリテーションも行っておりますので、胸痛精査だけでなく心不全でコントロールが困難な症例などございましたら御紹介頂きますと幸いです。

最近抗がん治療の進歩によるサバイバー増加、抗がん治療患者の高齢化に伴い、がん治療関連心筋障害が注目されています。心機能低下を早期に検出するにはLVEF(左室駆出率)だけでなく、GLS(global longitudinal strain)が有効であることが知られております。当院では、心血管毒性を有する抗がん治療前のリスク評価、モニタリング、がん治療関連心筋障害に対する治療介入を行っております。アントラサイクリン系薬剤やHER2標的治療などの心血管毒性を有する抗がん治療を予定されております症例につきましても御紹介頂きますと幸いです。

循環器内科は現在、専門医2名体制で診療を行っております。月曜日、木曜日は平井、火曜日、水曜日、金曜日は本多が担当しております。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

## 地域医療連携室 入退院支援

～ベテラン看護師と経験豊富なソーシャルワーカーによる入院支援・退院支援～

地域医療連携室師長 ふじもと たまみ  
藤本 珠美

当センターでは、患者支援業務のなかで入退院支援は看護師とソーシャルワーカー（以後MSW）が中心となって担当しています。今回、入院支援と退院支援の2つの業務に分けてご紹介します。

まず、入院支援は3人の看護師が担当しています。各看護師は当センターで20年以上のキャリアを持ち、病棟経験だけでなく退院支援看護師としての実績を持つ経験豊富なベテラン看護師、つまりポリバレンタナスです。主な業務は、入院決定と同時に入院の説明や入院加療に必要な情報収集、そして入院される患者さんの心身ともに入院目的の準備性を高めることです。疾患、入院目的、入院期間、日常生活状態、介護情報等を収集して、リスク判定後病棟へ情報をつなぎます。コンパクトな病院だからこそ、入院支援担当者と外来師長、病棟師長の情報共有は電子カルテ内の記録だけでなく、face-to-faceの情報共有、課題の共有を大切にしています。病棟業務のタスクシフトとして、看護計画に反映できるように必要な情報の正確さ、そして入院される患者さんへの正確な情報提供をモットーに取り組んでいます。

退院支援担当は、2名の看護師

と5名のMSWを各看護単位へ配置しています。退院困難な要因をアセスメントして、主治医と多職種や各診療支援チームをつなぎ、さらに在宅支援に必要な資源をつなぐ役割があります。当院では、病床機能に応じた病床管理をしていますので、患者さんの協力を得ながら病棟間の患者移動が日々行なわれています。患者情報や在宅支援の調整情報が途切れないよう担当者間の協働力を活かし、入院前の生活の場へつなぐように医療・福祉・介護の調整を行なっています。

ご紹介いただいた患者さんに安心・安全な医療の提供を行い、再びご紹介元の先生方へ帰っていただけるように、「つなぐ」が私たちの役割です。



入院支援担当者



退院支援担当者

## 退任挨拶

このたび、産休に入るため2024年11月末をもって退職させていただくことになりました。

2024年5月から週1回と短い勤務期間ではありましたが、多くの先生方に優しく接していただき、貴重なご指導をいただけたことに感謝申し上げます。第1子出産後初の非常勤勤務先が当院でした。当院皮膚科には小児患者さんも多く受診されます。自身が母になったことで、小児患者さんや保護者

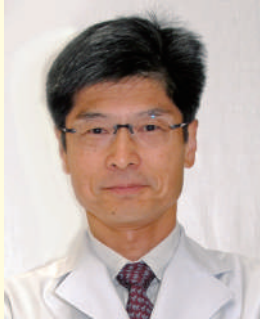
の方、育児中の患者さんに対する理解が深まり、以前よりも寄り添った診療ができるようになったのではないかと思います。

仕事と育児の両立は簡単ではありませんが、少しでも役に立てる医師であり続けられるよう、ゆっくりでも成長を重ねていきたいと思っています。ありがとうございました。

皮膚科 あらき せいな  
荒木 聖菜

# 令和6年度 連携の会を開催しました

総合診療部長 兼 手術部部長 兼 地域医療連携室長 <sup>やなぎ</sup>柳 <sup>ふみはる</sup>文治



令和6年9月27日(金) 熊本ホテルキャッスルには、昨年の122名を上回る137名の先生方に御主席いただきました。

講演会では、熊本市医師会会長 園田 寛先生のご挨拶のあと、院長 杉田裕樹先生が「当センターの現況について」講演されました。引き続き、私が「地域医療連携室の取り組み」と題して「どの診療科に相談してよいか分からない」「受診可能な時間を調整してほしい」「入院可能か担当医師に相談してほしい」など受診に関する相談・転院相談など医療連携における前方支援の相談の窓口として、地域連携室師長が対応している「患者紹介ホットライン (096-372-0600)」などお話ししました。

診療科講演では、小児科部長 柳井雅明先生から「熊本地域医療センター小児科の役割と特徴」、アレルギー内科部長 津村真介先生から「呼吸器・アレルギー診療の最前線」という演題でご講演いただきました。

懇親会では、院長 杉田裕樹先生、熊本市医師会会長 園田 寛先生からのご挨拶に続いて、熊本市医師会理事 鶴田克家先生が、現在の病院の理念にまつわるお話のあと乾杯を宣言され、和やかな懇談が行われました。ある先生から、患者紹介のお電話を従来通り地域医療連携室に掛けられ、上手く行かなかったお話がありました。患者紹介ホットラインに繋がりにくい時のみ、地域医療連携室に掛けていただくと地域医療連携室師長から折り返しのお電話を差し上げるシステムになっていることをご説明しました。患者紹介ホットラインの周知が不十分であることを改めて知ることになるなど、有意義な懇親会になりました。

医師紹介は、副院長の笹原誉之先生のご指名で順番に各科の先生方が登壇されご挨拶をされました。

閉会の時刻となり、熊本市医師会副会長 宮本大典先生より閉会のご挨拶いただきました。

ご参加いただきました皆様には改めて御礼を申し上げますとともに、患者さんのご紹介を含めて、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 「友達の輪～Relay トーク 第32弾」

みやはらレディースクリニック **みやはら 陽**

くまもと森都心クリニックの石井雅子先生よりバトンを受け取りました、みやはらレディースクリニックの宮原 陽です。石井先生は泌尿器科と美容医療の両面から多くの女性を元気におられ、いつもその姿勢に刺激をいただいております。私も、女性の美と健康を支えたいとの思いで2018年2月に西区春日にクリニックを開業し、まもなく7年を迎えます。これからの日本を豊かにしていくために、産婦人科医として次のようなミッションの達成を目指して日々努めています。

1. プレコンセプションケアを広め、健康な男女の間に健康な次世代が誕生する社会を築くこと
2. HPV ワクチン接種の推進により、子宮頸がんをはじめとするHPV 関連がんを撲滅すること
3. 月経をコントロールし、女性のQOL 向上を支援するとともに、子宮内膜症など妊孕性に影響する疾患を予防すること
4. 思春期から更年期、そして豊かな老年期を迎えられる健康管理を提供し、健康寿命を延伸すること

熊本市子宮頸がん検診では特に熊本市医師会検査センターにお世話になっております。子宮頸がんの原因となるHPV 感染を示すASC-US という結果の際にはHPV ジェノタイプ検査を追加するのですが、子宮頸がん検診の残検体の保管をこれまでの1ヶ月から最長3ヶ月に延長できるようお願いしたところ、冷蔵庫を追加購入してくださったとのことで、患者さんには再度検体採取の負担が少なくなることで大変助かります。今後ともよろしく願いいたします！

2024年4月より、熊本市医師会西部会の世話人を務めさせていただくこととなりました。地域医療の

向上に少しでも貢献できるよう、夏期の会や忘年会・新年会等のイベントを通じて西部会の医師との交流を深め、診療の質向上やお互いの支え合いに役立てればと考えております。2025年の忘年会では何の芸を出そうかと、今から盛り上がりおりました。

今回は本年5月に熊本市医師会に入会されました、佐藤眼科の佐藤智樹先生をご紹介いたします。熊本大学時代の同級生で国家試験に向けた勉強会で一緒に過ごしました。同年齢ながら開業医としてすでに20年超のベテランで、荒尾市、大牟田市に引き続いて熊本駅前に3つ目のクリニックを開院され、県外からも患者さんが受診される頼れる眼科医です。私が開業を決意するきっかけをくれ、今でも定期的と一緒に呑むたびに刺激をもらっています。これからもよろしくです。



フォーシーズンズレディースクリニック 田畑愛先生、うちの産婦人科内野貴久子先生、さかぐち女性のクリニック 坂口勲先生と一緒に、熊本市内・県内の中高校に性教育の講演を積極的に行っております。

## 熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

※12月の勉強会はいたしません。次回は2025年1月27日開催予定となっております。

日時／2025年1月27日(月) 19:00～20:00

形式／ハイブリッド方式 オンライン参加 or 会場参加

オンライン参加：ZOOM 会場参加：2階多目的ルーム

申し込み方法／[kumamotochiiki@gmail.com](mailto:kumamotochiiki@gmail.com) (※1) まで

(※1) メール作成用QRコード

メールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。(後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。)

※会場参加を希望される方は、事前にお申し込みください。

人数制限によりご案内できない場合がございます。

※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。



### ①症例報告

『頭頸部動脈の珍しい形態の5選』

放射線 矢村 正行 医師

### ②特別講演

『喘息と成人アレルギーの最新情報』

CC79：気管支喘息

呼吸器内科 津村 真介 医師

 熊本地域医療センター

☎096-363-3311 (代表)

■紹介や転院調整はこちら  
※地域医療連携室師長が対応いたします。

(平日9:00～17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)

☎096-366-1323

編集後記

Y 今月の「友達の輪」は西部会世話人の「みやはらレディースクリニック」の宮原 陽先生でした。ありがとうございました。9月の「連携の会」でご紹介しました「患者紹介ホットライン」もチャンスがあれば、ご利用いただくと幸いです。

K あっという間に師走です。この1年の家族の話題で締めくくり。めっきり寒くなってきて、高3の末息子と私はソファーに横並び、毛布をかぶって仲良く携帯ゲーム。ただ、彼は受験生。ママと遊んでいいのかなあと不安になる今日この頃です。

H 今年もセンターだよりをご愛読いただきありがとうございました。個人的な話題ですが、来年30歳を迎えます。30歳…。今までと全く異なる響きに違和感がありますが、年齢に見合った思考と行動を身につけることを目標にします。来年もよろしく願いいたします。